

拠出金名:国連環境計画国際環境技術センター(IETC)拠出金

分担金・義務的拠出金の有無		有(所管官庁)	無		
当該機関等に対する分担金を含めた平成20年度の拠出総額		246,306千円			
国際機関等名	国連環境計画国際環境技術センター (英文名称・略称)United Nations Environment Programme/ International Environmental Technology Centre (UNEP/IETC)				
種別	国連(事務局)	国連(基金・計画)	国連専門機関 その他		
所管官庁担当局課名	外務省国際協力局地球環境課				
最近3年間の我が国支払額及びODA率(注1)					
単位	邦貨 (千円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2 (千 )	レート	ODA率(%)
平成20年度	146,539	1,297		1米ドル = 113円	100
平成19年度	220,400	1,900		1米ドル = 116円	100
平成18年度	222,000	2,000		1米ドル = 111円	100
当該拠出金の目的・用途等	事務局運営経費及びノンイアマークプロジェクト経費				
コア予算拠出上位5ヶ国・地域・機関等 (2008年のもの)				国際機関等の財政(コア予算) (2008年度決算)	
	国名	金額(注2) (千米ドル)	拠出率 (%)	当該年度の収入 333万米ドル	
1位	日本	1,883	100.0	当該年度の支出 205万米ドル	
2位				次年度への繰越 128万米ドル	
3位				会計検査機関名	
4位				国連会計検査委員会	
5位				(UN Board of Auditors)	
(現在の構成員の出身国:南ア、仏、中)					
当該機関等に対する我が国としての評価 (当該機関等の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)					
<p>・本センターは、我が国に位置する有利性を最大限活用し、我が国の環境技術や経験を活用しつつ、途上国等に対する環境上適正な技術の移転を促進するための事業を実施しており、我が国の環境技術の国際競争力の向上につながっている。</p> <p>・また、我が国が進める3R(廃棄物の発生抑制、再使用、再生利用)イニシアティブ及び産業開発と環境管理を連携させたエコタウン構想を活動の中心と位置づけ、アジア地域を中心にプロジェクトを積極的に実施し、アジア地域での3Rイニシアティブの推進に貢献。</p> <p>・さらに、イラク復興支援の一環として、イラク南部湿原管理プロジェクトを実施し、湿原の環境回復及び現地住民に対する飲料水や衛生設備の提供に貢献し、イラクや国際社会から高い評価を得た。</p>					
<p>合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価</p>					
<p>IETCは、わが国に所在する利点を最大限活用し、我が国の環境分野における知見も活用しつつ、他の国際機関と密接に連携・協力している。また、IETCは、財政基盤強化のための自助努力を続けており、これらについて、我が国として評価している。</p>					
邦人職員数 うち幹部以上(注3)	10人 うち1人	当該機関全体の職員数 及び邦人職員が占める率(注3)	16人 62.5%		
邦人職員が占めている幹部ポスト					
ポストの名称		職員氏名	備考		
所長		中村武洋			
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画					
09年7月から、UNEPに勤める唯一の邦人幹部職員である中村武洋氏が所長に就任したことを受け、今後とも、幹部ポストへの邦人職員の送り込み実現に向けて引き続き努力する。					

(注1)平成16年度より外務省と環境省が折半して拠出している。表記は外務省分。

(注2)環境省と外務省で負担

(注3)2009年7月現在